

ちっち組

10~12月

身近な人と気持ちが通じ合う喜びを味わう



お友だちのことを押してあげたい
という姿がたくさん！



なでなで♡



きょうかちゃんどうぞ！

「友だちと関わりたい」という気持ちがますます大きくなって、“自分で”の遊びから、友だちとの関わりをもちながら遊ぶ姿が、ますます増えてきました。

友だちの持ち物をよく分かっていて、「どうぞ」と届けてあげる姿や、友だちが乗っているコンビカーを見つけると、「押してあげたい」という姿もたくさんあり、「友だちに何かをしてあげたい」という気持ちに溢れている子どもたちです。

成長の中で、一人ひとりが自分の気持ちを思い切り表現する姿が増えてきて、友だちとの関わりにおいて、自分の気持ちと、相手の気持ちがぶつかり合う場面も増えてきました。

気持ちを受け止めて、それぞれの気持ちを言葉にのせて伝えていく中で、自分の気持ちを分かっ
てもらえた安心感から、相手の気持ちに目を向ける姿や気が付く姿もあります。

友だちの使っているおもちゃが欲しいときには一緒に「貸して」と聞いてみるなど、友だちとの関わりにおいて、嬉しい・心地良いコミュニケーションの取り方で一緒に尋ねていく中で、いきなり取ってしまうのではなく、自ら「貸して」と聞いてみる姿も増えてきました。相手の気持ちが分かって、葛藤しながら、自分の気持ちを仕草や言葉で伝えたり、相手の気持ちに応えようとしていたり…友だちと心を通わせながらやり取りをする経験を重ねています。